



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社サイバーセキュリティクラウド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘
(コード番号：4493 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 倉田雅史
(TEL. 03-6416-9996)

2025 年 12 月期 第 3 四半期決算に関する Q&A 掲載のお知らせ

当社は、2025 年 12 月期 第 3 半期決算に関する Q&A を掲載いたしましたので、お知らせいたします。

2025 年 12 月期 3Q 会計期間の売上高総利益率が改善した理由は？

WafCharm の期間限定の大型案件獲得による売上増や、CloudFastener の新機能開発費用を資産計上したこと等により費用が減少し、2025 年 12 月期 3Q 会計期間は売上高総利益率が改善しました。

なお、WafCharm の当該案件については継続しない一時的な売上のため、開示している ARR に含めておりません。

4Q に発生する一時的な営業費用は？

当社は、毎年 12 月にラスベガスで開催される AWS の大型イベント「AWS re:Invent 2025」への参加を予定しております。

これに伴い、他の四半期と比較して広告宣伝費は一時的に増加する見込みですが、当該イベントへの参加による営業利益率への影響は限定的であり、全体収益構造に与える影響は軽微であると見込んでおります。

WafCharm の ARR 成長率を加速させるための施策は？

2024 年 3Q に既存顧客向けの価格改定を実施したことにより、2024 年 3Q から 2025 年 2Q にかけては前年同期比で ARR が高い成長率を記録しておりました。

今後の成長加速に向け、2025 年 8 月には新プラン『WafCharm Lite』をリリースしました。Managed Rules から WafCharm への利用拡大や、幅広いニーズに応えるべく機能開発を継続することで、ユーザー基盤の拡大とアップセルの実現を目指してまいります。

当社が IPA の教育クレデンシャル関連の実証案件を受託した理由や、今後の展望は？

2025 年 2 月に子会社化した株式会社 DataSign では、デジタルアイデンティティウォレットの社会実装を目指した取り組みを以前から進めており、これまでにデジタル庁の「Trusted Web」や総務省の「偽・誤情報対策実証事業」などで、デジタルアイデンティティやデジタルクレデンシャルに関する研究開発を行ってきました。今回の IPA 実証案件では、DataSign が持つこうした技術や知見を活かし、日本と EU 間で教育関連データを安全に連携できる仕組みの検証に取り組んでいます。今後は、本案件やこれまでの R&D を通じて、セキュリティ技術を自社事業にも展開していくことを目指してまいります。

以 上